

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第64号

センター長よりご挨拶

センター長 河野 通浩

私は、前任の飯島克則先生から引き継ぎまして、この4月から地域医療患者支援センター・がん相談支援センターのセンター長を拝命しました。当センターは、入退院支援部門、地域医療連携部門、がん・遺伝相談部門、相談支援部門の4つの部門からなり、総勢31名の専門の知識を持つ看護師、ソーシャルワーカー、事務員が各部門を担当しております。大所帯ではありますが、各部門の守備範囲も多岐にわたっていますので、おのおの一生懸命に活動しております。



入退院支援部門では、本年度の診療報酬改定により新設される精神科入退院支援加算を当院で算定できる体制を現在整えております。また、入退院支援加算の算定を確保するため、限られた人的資源の中で入退院支援をいかに効率的に実施していくか、一昨年からは開始された予約システムの改善を含めてさまざま検討をしているところです。入院前支援で予約制を開始した際にも各診療科のスタッフの皆様には多大なご協力をいただきましたが、よりよい入退院支援にするため、各診療科へのシステム改善点の聞き取り調査などを含めたご助力を賜りますよう、これからもお願い申し上げます。

地域医療連携部門は患者さんが当院を受診する際の窓口になっている部門で、紹介医からの紹介手続きを円滑にして、より多くの患者さんに当院を受診いただけるよう努力しております。おかげさまで他施設から当院へのFAX予約の数は年々増加しております。

相談支援部門では、患者さんやそのご家族からのお問い合わせや貴重なご意見を受け付けています。ときに厳しいご意見も頂戴することもあります。患者さんに満足していただけるよう担当部署へのフィードバックを行っています。脳卒中相談窓口を今年度から新たに設置し、難病に関する相談支援では災害時の対応や在宅難病患者一時入院（レスパイト）事業への対応など新しい取り組みも行っております。

がん・遺伝相談部門のうち、がん相談支援センターは当部門の大きな柱です。セカオンドオピニオン調整や希少がん、AYA世代のがんへの相談にも対応しています。遺伝相談部門ではがんゲノム治療に関することや遺伝カウンセリングに関することを担当しております。

これまで同様、本年度も当センターの活動にご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度 センター活動計画

1. 入院前支援を必要とする患者が適切に抽出できるよう、病棟・外来と連携し体制を整備する
2. 再構築した入退院支援プロセスの定着を図り、綿密な連携を強化するとともに診療報酬算定件数の維持に取り組む
3. 診療報酬改定により新設される「精神科入退院支援加算」を算定できる体制を構築する
4. 診断初期からがん相談支援センターの利活用が得られるよう医療者・患者・家族及び一般市民へ周知し、認知度の向上を図る
5. 難病患者の災害時個別支援計画策定に向けて体制を整備する



退職されたスタッフ

小野 寿美子 看護師
今野 笑子 看護師
伊藤 まどか 事務スタッフ



お世話になりました!

異動したスタッフからのご挨拶

瀬田川 美香 看護師

約7年勤務し入退院支援部門を担当しました。レシピエント移植コーディネーターとしても活動していましたが、院内各部署やMSWとの連携体制の構築を図ることができたのではないかと考えています。

現在は病棟勤務をしていますが、センターで学んだことを今後も活かしていきたいです。長い間ありがとうございました。

新しいスタッフのご紹介

佐々木 郁子 看護師

4月から配属になりました。入院前支援を担当しています。

患者さんやご家族の思いや背景を、より良い療養生活や円滑な退院へ結びつけるよう役割を果たしていきたいと思えます。

よろしくお願いいたします。

佐藤 多実子 看護師

4月から配属になりました。入院前支援を担当しています。

これまでの経験を生かして患者さんが安心して入院生活を送ることができ、安心して治療に向き合えるよう支援していきたいと思えます。

よろしくお願いいたします。

齋藤 和貴子 事務スタッフ

6月から採用になりました。事務を担当しています。

まだわからないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思えますが少しでもお役に立てるよう努めていきます。

よろしくお願いいたします。

よろしく
お願いします

